



# に と な 便 り

第30号

平成30年2月

独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 〒260-8712 千葉県千葉市中央区仁戸名町673 Tel. 043-261-5171

## 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

天候にも恵まれ、皆様には穏やかで良い年を迎えられたことと思います。

新年を迎えまして、年頭の挨拶を申し上げます。

今年は医療費・介護費の改訂の年にあたります。わが国の国民医療費は、高齢化の進展に伴い急激に増加し続け既に40兆円を超えております。今回の改訂にあたり厚労省が示している基本認識では、人生100年時代を見据えた社会の実現、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現（すなわち地域包括ケアシステムの構築）、そして制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進が謳われています。

具体的方向性として、当院に関係の深いものを列挙しますと、医療機能や患者様の状態に応じた入院医療の評価、認知症の方・難病患者様に対する適切な医療の評価、口腔機能低下への対応、地域包括ケアシステム構築のための多職種連携による取組の強化、後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進などが挙げられます。



院長 新井 公人

働き方改革が叫ばれる中、如何に効率よく、しかも高い水準の医療を提供できるかで医療機関が試される時代になりました。当院では、長年の懸案であった消化器科の常勤医招聘が4月に実現致します。チーム医療がより強力に機能していくものと期待しております。

この1年、リハビリテーション科での土曜日リハの導入や検査科での始業時勤務形態の検討など、働き方を工夫して皆様にご満足いただけるよう徐々に改善を図ってまいりました。今後とも、皆様に良くなっていく変化を実感していただけるよう職員一同努力を続けてまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 院長挨拶                        | 表紙 |
| 「糖尿病イベント」                   | 2  |
| 「認知症看護認定看護師の活動」             | 3  |
| 患者の自己管理薬内服間違いを防ぐための多職種共同の活動 | 4  |
| 季節の健康レシピ                    | 5  |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 病院各科紹介「小児科」                   | 5 |
| 重心病棟イベント                      |   |
| 「新年を祝う会～ただじゅんのおはやし劇場だだすこだんだん」 |   |
| 「病院deあかり展2017」                | 6 |
| 第2回 地域医療連携室通信                 |   |
| 今後のイベント予定                     | 7 |
| 外来担当医表                        | 8 |

## 「糖尿病イベント」

糖尿病内分泌内科医長 花岡 美貴

糖尿病の患者数は年々増加しており、国連は、インスリンの発見者であるフレデリック・バンティングの誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」として世界各地で糖尿病の撲滅キャンペーンを実施しています。この日はアメリカのエンパイア・ステートビルでライトアップをはじめ、国連ローズガーデンの芝生にブルーサークルがつくられるなどのイベントが開催されます。日本でも、11月14日を含む1週間を「全国糖尿病週間」とし、全国的に糖尿病予防と重症化防止に向けた啓発運動を行っています。東京タワーや通天閣、松江城、鎌倉大仏などがテーマカラーであるブルーにライトアップされます。千葉ポートタワーもライトアップされるのをご存知でしょうか？

千葉東病院でも、糖尿病診療に関わるスタッフが中心となり、毎年全国糖尿病週間に合わせてイベントを行っています。今年も例年通り10月28日に糖尿病スタッフと参加申し込みをいただいた患者様約30名とでたのしい時間を過ごすことができました。糖尿病の患者様に限らず最近特に高齢者の方で、筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態＝ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ）が日本整形外科学会から提唱され、進行すると介護が必要となるリスクが高くなるということで問題となっています。糖尿病の患者様は骨折や骨粗しょう症を起こしやすいということが知られており、ロコモティブシンドロームにも陥りやすいため、今回はロコモ予防と題して、まずは参加していただいた皆さんにロコモティブシンドロームの状態かどうかのチェックをしてもらいました。そのあと実際に片足立ちやスクワットなどのロコモ予防の運動をスタッフとともにしてもらいました。リハビリテーション科の船越理学療法士長からロコモ予防についてのお話や、実際の運動時の注意点などについてお話をいただき、ご指導もいただきました。来年は当院主催の糖尿病イベントも10回目となります。スタッフ一同ますます頑張っていく所存です。今後も皆様のご参加をお待ちしております。



ブルーにライトアップされた千葉ポートタワー

## 『認知症看護認定看護師の活動』

認知症看護認定看護師  
佐野 明子

はじめまして。当院2人目の認知症看護認定看護師として活動をしている佐野明子です。



認知症というと、どんなイメージをお持ちでしょうか？

認知症になってしまうと、「何もわからなくなる」、「できなくなってしまう」とお考えの方も多いと思います。確かに認知症になると記憶力が低下したり、物事を理解し判断することができづらくなります。しかし、周囲の手助けがあれば、自分らしい生活を続けていくことが可能です。



病気になって入院すると、今までの生活とは異なる環境での生活が始まります。特に認知症の方は治療や周囲の様子に不安を覚えても、自分の思いを上手に伝えることが苦手です。認知症の方が困っていることを少しでも減らして、治療に専念できる環境を整え、できるだけ早く退院できるようにお手伝いすることが私の仕事です。

病室を思い浮かべてください。ベッド、カーテン、点滴、といった特別なものが思い浮かぶのではないのでしょうか？家とは違う馴染みのない場所でも安心して入院生活を送れるように、スタッフ全員で入院生活をサポートしています。

千葉東病院では、医師、看護師、医療相談員、心理士、薬剤師、理学療法士と様々な職種で「認知症サポートチーム」を組み、より良い療養環境を提供しています。

治療や入院生活だけでなく、物忘れや今までできていたことができづらくなったなどの心配ごとがありましたら、ぜひ相談してください。

毎週木曜日に「物忘れ外来」をやっています。  
完全予約制です。

**☎043-261-5171（代表）**





# 患者の自己管理薬内服間違いを防ぐための多職種共同の活動

看護師長 米川 敦子

今般、医療に対する報道は医療職において自分事のように考えさせられます。当院では患者に安全な医療を提供することを目的にリスクマネジメント部会という多職種共同で活動を行っています。その部会では「転落転倒防止」「患者誤認防止」「自己管理薬間違い防止」の3Gに分かれ活動を行っています。私達のグループは「自己管理薬間違い防止」として活動を行いました。病気になると多くの薬が処方され、その数の多さから管理を行うのも容易な状況ではありません。持参してくる薬を拝見すると、数が合わない、飲みきらないほどの様々な薬があります。そこで平成28年度から「患者さんが自分で管理する薬の間違いを減らそう」という取り組みを始めました。患者さんが自分で薬を管理する目的は自宅で内服薬をきちんと間違えずに飲んでいただくことにあります。看護師も各部署で患者さん一人ひとりの理解度に合わせて様々な工夫を行っています。しかし、「朝の薬と夕方の薬を間違えてしまった」「2錠飲むところを1錠しか飲まなかった」などの内服間違いが多く報告されます。私達のグループは医師・看護師・薬剤師で構成され「どうすれば間違いを減らすことができるのか」の検討を重ねました。その結果、これまでは患者さんが薬を自己管理する時期や指導方法はその日の受け持ち看護師の判断に任されていたが、一人の判断だけでなく各部署で医師・看護師間で話し合いをもち、薬剤師にも指導に入ってもらい基準・流れをフロー化しました。それをもとに医師・看護師の話し合いの場面から患者に薬を手渡し指導するまでを、メンバー手作りのDVDを作成し、各スタッフへの視聴と基準の周知を行いました。DVDの視聴は成果があり、間違いの件数は減少しました。しかし追跡調査を行うと、時間の経過とともに同様の事例件数が増加する傾向が見られました。その対策として、各部署に定期的な基準の周知とDVDの視聴を促し、患者さんが薬を自己管理する時の指導を徹底しました。

私達国立病院機構は毎年学会を開催し、各病院の取り組みや研究を発表します。今回、この成果を平成29年11月に香川県高松市で開催された第71回国立病院総合医学会にて発表し、医師・看護師・薬剤師が共同し取り組んでいることを評価され、ベスト講演賞を受賞しました。千葉東病院の職員は、患者の皆さまに安心して医療を受けて頂くためにも継続した取り組みを行って行きます。



## 季節の健康レシピ



心も体もぽかぽか

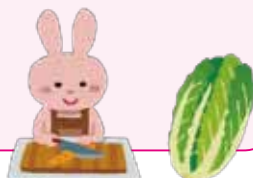
## ジンジャー豆乳たっぷりスープ

## ～材料（2人分）～

生姜……………15g  
 人参……………40g  
 ねぎ……………40g  
 白菜……………200g  
 昆布……………10cm角1枚  
 水……………400cc  
 春雨……………20g  
 無調整豆乳……200cc  
 味噌……………12g（小さじ2杯）

A

鶏ひき肉……60g  
 玉ねぎ………40g  
 塩……………0.3g  
 （1g計量スプーン1/3）  
 コショウ……0.02g  
 白いりごま…2.4g  
 （小さじ1杯）



## ～作り方～

- ①生姜と人参は千切り、ねぎは斜め切り、白菜はざく切り、玉ねぎはみじん切りにする。
- ②鍋に昆布だし、水、Aを混ぜ捏ねたものをスプーンですくい入れる。
- ③生姜、人参、ねぎ、白菜を入れ蓋をし、中火弱で加熱する。
- ④野菜がしんなりしてきたら春雨を入れ、蓋をしてさらに2分ほど煮る。
- ⑤豆乳と味噌を加え、温まったら器に盛り付けて完成。

## 1人分の栄養価

|       |         |
|-------|---------|
| エネルギー | 186kcal |
| たんぱく質 | 12.7g   |
| 食塩    | 1.2g    |

## ☆塩分制限の方へ☆

香味野菜の生姜やねぎ等を用いることと、香辛料のこしょうで風味を引き立たせることで、塩分量を減らすことができます。

## ☆カリウム制限の方へ☆

野菜は、小さく切って一度茹でこぼすことで、カリウムを減らすことができます。

## ☆エネルギー制限の方へ☆

春雨（表1）の代わりにしらたき（表6）を使用するとエネルギーを抑えることができます。

## 病院各科紹介

## 小児科

診療部長 松村 千恵子

当科は、3歳・幼児検尿、学校検尿異常者の千葉県精密検診指定機関であり、県内医療機関から多くの患者様の御紹介をいただいています。年間70例前後の腎生検・必要な画像検査を迅速に施行し、急性・慢性糸球体腎炎、紫斑病性腎炎、ネフローゼ症候群、SLE、腎不全、先天性腎尿路奇形の確定診断、治療まで、小児腎疾患医療を一貫して行っています。腎不全医療として、腹膜透析、血液透析・血漿交換（学齢以上）、腎臓移植（移植外科、体重20kg以上）を行い、急速進行性腎炎に対しても迅速な対応が可能です。県立仁戸名特別支援学校（小中高等部）が隣接し、入院期間の長短に関わらず学校教育が可能です。2人の専任保育士がおり、入院幼児の保育を行っています。

重症心身障害児者病棟120名の患者様を受け持ち、短期入所事業も行っています。

症例の御相談は医師あてへ随時お電話ください。月・木腎外来の受診予約は地域連携室へ、予約外でも月木午前の診療時間内なら受診可能です。早朝尿を御持参下さい。

肥満・不登校・膠原病等の慢性疾患で入院期間が長い症例、一般小児軽症疾患（IgA血管炎・胃腸炎・肺炎・喘息等）の入院受け入れ、夜尿症の外来治療も行っています。

2018/5月からは、一般小児科外来（火・水・金午前）も開始いたします。

多くの患者様のご紹介をお待ちしております。



## 重症心身障害病棟 「新年を祝う会～ただじゅんのおはやし劇場だだすこだんだん」

療育指導室 保育士 小野澤 真未

新年が明けて最初の行事は新年を祝う会でした。以前にもお越し下さった、多田純也さんこと「ただじゅん」の登場です！歌や踊りのおめでたい舞台の始まり、始まり～♪♪

まずは、皿回しならぬ「福」回し!! 福なら大きな福が良いと大きな皿に「福」の字が書かれた福回しが行われました。天井につきそうな位、高い位置で勢いよく回る福！皆さんにたくさんの「福」が巡ってきますように…。

また和太鼓や笛、三味線といった日本の楽器での演奏や歌、踊りが繰り広げられました。ご家族もハッピーを着て和太鼓の演奏に参加をしました。ご家族は慣れない和太鼓のパチさばきに少し緊張気味の面持ちでしたが、リズムミカルで迫力ある太鼓の音色に会場はノリノリ♪♪利用者や職員、ご家族も手拍子や楽器でリズムに合わせて合奏をしました。

そして厄除け厄払いで登場した獅子舞に利用者はビックリ！目の前に来る獅子舞に「こわい～」と言いながら顔をそむけてしまったり、目をギュッと力強く閉じていたり、驚いて大きな口を開けている方もいました。獅子舞には「獅子舞が噛みつく」と神が付く」という縁起担ぎの意味もあるそうですよ。その獅子舞に頭を噛んでもらい、邪気を食べてもらいました。

「ただじゅん」のおめでたい舞台が繰り広げられ、新年の幕開けにふさわしい行事となりました。みなさんにとって素敵な一年になりますように…。



## 重症心身障害病棟 「病院deあかり展2017」

療育指導室 保育士 蔵松 美沙

平成29年10月20日～22日に重症心身障害病棟にて行事「病院deあかり展2017」を開催しました。

病院deあかり展は照明デザイナーの橋田裕司さんが代表を務める照明塾・あかりバンクにご協力いただき、平成25年度より開催している手作りあかりの展覧会です。和紙と針金で作られるあかりはすべて手作りのため、世界に一つしかない一点物！今年はあかり作品130点以上を展示し、病院であることを忘れてしまうほどの心温まる癒しの空間が広がりました。

今年のテーマとして1つ目は「あかりの水族館」。  
大阪府内の学生が作製した海の生き物をイメージしたあかり作品が展示されました。本物そっくりのデザインや想像上の生き物のデザインなど、見ていて楽しくなる作品が並び、素敵な水族館が登場しました。

2つ目のテーマは「地域の皆さまが参加できる展覧会」。

昨年夏に地域住民の皆さまに向けて、手作りあかりのワークショップを開催しました。近隣の幼稚園児、小児病棟に入院している子どもたちが描いたデザイン画を元に、地域住民の皆さまが一生懸命あかりを作ってくださいました。作り手の想いも詰まった温かみのある素晴らしいあかり作品が9点誕生し、デザイン画とともに展示しました。

絵を描いた子どもたちも来場し、自分が描いた絵が作品になっているのを、嬉しそうにご家族と一緒に鑑賞されていました。

開催期間中は3日間で患者様、ご家族、地域住民の皆さまなど、延べ539名にご来場いただき、手作りあかりの癒し空間を楽しんでいただくことができました。なお、この模様は地域のケーブルテレビ、J-COM、千葉テレビのニュースでも取り上げられ、ヤフーニュースからも情報発信されました。

次回は平成30年11月に開催を予定しておりますので、ぜひ癒しの空間を皆さまも体験してみてください。



### 第3回 地域医療連携室通信

医療社会事業専門員 白田 夏子

連携室には3名のソーシャルワーカーが在籍しており、患者様・ご家族からの様々な相談をお受けしています。

ご相談内容は多岐にわたりますが、最も多いのが「退院に向けてのご相談」です。今回は、その中でも、私たちソーシャルワーカーが関わることの多い「療養型病院への転院」についてお話をさせていただきます。

当院での治療が終わり、医師から「もう退院できますよ」と説明を受けたけれど、自宅での療養には不安が残る…そのようなご相談をお受けした時、選択肢の一つとしてご案内しているのが療養型病院への転院です。

療養型病院とは、急性期の治療を終え病状が安定している方のうち、引き続き医療的ケアが必要となる患者様を受け入れている医療機関です。どなたでも入院できるというわけではなく、入院医療の必要性が高いと判断された方が対象となります。

一般病院とは異なり、専門的治療や検査は行いませんが、長期入院が可能で、安心して療養できる環境が整っています。具体的な入院期間やリハビリの有無、健康保険外でかかる費用等は、病院ごとに異なります。

療養型病院への転院を希望された場合、おおむね以下のような流れで進みます。

- ①当院ソーシャルワーカーとの面談…患者様のお身体の状態や、転院先についてのご希望をお伺いした上で、病院についての情報提供をさせていただきます。
- ②希望病院決定…転院を希望する病院の候補を挙げて頂きます。
- ③転院依頼・検討会議…ソーシャルワーカーから希望病院へ転院相談を致します。検討可能と判断頂いた場合は、入院検討の会議にかけられます。
- ④家族面談…ご家族と転院希望病院とで面談を実施致します。
- ⑤結果連絡・転院…転院の可否が決まります。ベッドの調整ができ次第、ご転院となります。

(療養型病院は満床の事が多く、ご相談 頂いてから転院までには、一ヶ月以上お時間を要します)

ソーシャルワーカーとの面談をご希望の方は、院内スタッフへお申し出頂るか、お電話にてご予約を承っております。どうぞお気軽にご相談下さい。



## ○●今後のイベント予定●○

### ●市民公開講座『もっと考えてみよう！腎臓のこと・栄養のこと』

- 開催日：平成30年3月10日（土）10時～12時30分（9時45分開場）
- 場 所：京葉銀行文化プラザ6階 千葉市中央区富士見1-3-2
- 対 象：どなたでも参加できます。事前申込が必要です。当院HP参照下さい。
- 内 容：腎臓の専門医が腎臓病（CKD）や栄養、腎臓病の予防の仕方や治療方法についてわかりやすく解説します。

### ●2018年千葉東病院膠原病教室

- 開催日：平成30年3月17日（土）13時～15時30分
- 場 所：千葉東病院大会議室
- 対 象：患者さんとその家族
- 内 容：膠原病の方を対象にした講演会





## 外 来 診 療 担 当 医 表

平成30年2月1日現在

| 診療科目                  |                      | 月                                          | 火                                           | 水                   | 木                                          | 金                             |
|-----------------------|----------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|
| 内 科                   | 糖尿病・内分泌              | 西村 元伸                                      | 西村 元伸<br>祖山 暁子                              | 関 直人                | 西村 元伸<br>花岡 美貴                             |                               |
|                       | 腎                    | 今澤 俊之<br>森 維久郎 ※2                          | 首村 守俊<br>今澤 俊之 ※2・3<br>岡田 絵里 ※2<br>山田 亜純 ※2 | 今澤 俊之<br>川口 武彦 ※2・3 | 上原 正樹 ※2                                   | 川口 武彦<br>岡田 絵里 ※1<br>森 維久郎 ※1 |
|                       | 消化器科※2・4             |                                            |                                             |                     | 担 当 医                                      |                               |
|                       | 循環器科※2・4             | 北原 秀喜                                      |                                             | 神田 真人               | 中里 毅                                       | 齋藤 佑一                         |
|                       | アレルギー科<br>(リウマチ・膠原病) | 松村 竜太郎<br>前澤 裕子                            | 中澤 卓也                                       | 大矢 佳寛               | 松村 竜太郎<br>二見 秀一                            | 松村 竜太郎<br>中澤 卓也               |
| 神 経 内 科<br>(新患は完全予約制) |                      | 新井 公人<br>小出 瑞穂                             | 新井 公人<br>伊藤 喜美子                             |                     | 本田 和弘<br>武田 貴裕<br>吉山 容正※1・6                | 磯瀬 沙希里<br>荒木 信之               |
|                       |                      |                                            | 特殊外来(治験)                                    | 特殊外来(治験)            | 特殊外来(治験)                                   |                               |
| 呼吸器科<br>※7            | 一般外来(再診)             |                                            | 石川 哲                                        |                     |                                            | 山岸 文雄※2・4<br>(第1, 3週)         |
|                       | 結核外来(初診)             |                                            | ※7                                          |                     |                                            |                               |
|                       | 結核外来(再診)             |                                            | 担当医                                         |                     |                                            |                               |
| 小 児 科                 |                      | 松村 千恵子<br>金本 勝義<br>小林 雅代<br>升田 真依<br>高橋 匡輝 | ※5                                          | ※5                  | 松村 千恵子<br>金本 勝義<br>小林 雅代<br>升田 真依<br>高橋 匡輝 | ※5                            |
| 外 科                   | 初 診                  | 坪 尚武                                       | 丸山 通広                                       | (手術日)<br>※5         | 西郷 健一                                      | 青山 博道                         |
|                       | 再 診                  | 西郷 健一<br>坪 尚武                              | 青山 博道<br>丸山 通広                              |                     | 坪 尚武<br>西郷 健一                              | 丸山 通広<br>青山 博道                |
| 整 形 外 科<br>リハビリテーション科 |                      | 勝見 明<br>田原 正道                              | (手術日)                                       |                     | 勝見 明<br>橋本 瑛子                              | 田原 正道<br>橋本 瑛子                |
| 泌 尿 器 科               |                      | 加藤 繭子 ※4                                   | 今村 有佑 ※4                                    |                     | 香村 衡一 ※4                                   |                               |
| 眼 科                   |                      | 今井 直樹                                      | (手術日)                                       | 今井 直樹               | 今井 直樹                                      | 今井 直樹                         |
| 形 成 外 科               |                      | 千明 信一                                      | 有川 理紗 ※1                                    | 千明 信一               | (手術日)※5                                    | 有川 理紗 ※1                      |
| 放射線科                  | 診 断 外 来 ※3           | 池平 博夫                                      | 池平 博夫                                       | 池平 博夫               | 池平 博夫                                      | 池平 博夫                         |
| 歯 科                   | 一般歯科                 | 大塚 義顕                                      | 大塚 義顕                                       | 大塚 義顕               |                                            |                               |
|                       | 摂食嚥下リハビリ<br>周術期口腔ケア  |                                            |                                             |                     | 大塚 義顕                                      | 大塚 義顕                         |

診療受付時間(初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前8:30～午前11:00

予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午前9:00～午後4:00

※1 午前からの診療となります。

※2 午後からの診療となります。

※3 予約制となります。

※4 新規の患者様は受け付けておりません。再診患者様については予約制となっています。

※5 受診を希望される場合は、お電話にてご相談ください。

お問い合わせは 月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間をお願いします。

※6 もの忘れ外来となります。

※7 新規の一般呼吸器患者様は受付しておりません。

新規の結核患者様につきましては、受診前に予め医療機関から連携室にご連絡下さい。